

平成26年度千葉県立松戸向陽高等学校教育指導方針

平成26年4月17日

テーマ：社会人としての基礎力を高めることができる学校

重点目標：

- 学力の底上げ、規範意識・基本的生活習慣の定着させ自ら取り組む姿勢を身につけさせる
 - ・わかる授業、学びがいのある授業の展開
 - ・きめ細かな指導、継続的・組織的な生徒指導
- チームワークにより組織体制の強化を図る
 - ・報告・連絡・相談体制の充実と情報の共有
 - ・職員相互の研修の充実及び若手職員の育成
 - ・3年間の取組の振り返りと課題の共有
- 安全で安心な学校づくりを推進する
 - ・いじめ防止
 - ・安全点検の徹底
 - ・職員の不祥事防止、適正な会計処理
- 福祉教育の充実を図る
 - ・福祉関連授業及び事業の充実

県の指導方針に基づく具体策：

- 1 人生を拓く「確かな学力」を育む
 - ・ 個に応じた指導の一層の充実
職員相互の授業参観を始め、授業公開・授業練磨の日の有効活用等をとおして、授業力の向上を図る。併せて、授業評価（授業アンケート）を適宜実施し、授業改善を図る。
指導目標を明確にし、少人数指導や学びなおしの時間の有効活用等、授業方法や授業内容の改善により、全教職員が協力して、わかる授業の展開に努め、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。
- 2 思いやりのある「豊かな心」を育む
 - ・ 確かな生徒理解と組織的対応の充実
個人面談等を通して生徒理解に努めると共に、あいさつの励行、服装・頭髪指導、時間厳守及び清掃の徹底など、生徒指導については、情報を共有し、共通理解・共通認識のもと、共通行動により組織的に全職員で当たる。
 - ・ 豊かな人間性や社会性の育成
福祉関連教科や家庭科及び道徳の時間等の指導を通して、生徒に自らの在り方・生き方を考えさせる指導を行うとともに、規範意識を高め、自他ともに尊重する心、共に協力し合い生きる姿勢・態度を育む。
- 3 活力ある「健やかな体」を育む
 - ・ 特別活動及び部活動等、学校内外の集団活動をとおして、生徒が集団の中で自己を生かす能力を育成する。
- 4 発達の段階に応じたキャリア教育を推進する
 - ・ 自己の在り方生き方や進路を考える指導の工夫・改善
総合的な学習の時間等の活用により、3年間を見通した計画的・組織的指導をとおして、家庭や上級学校、地域社会、産業界等と連携し、生徒に自らの在り方・生き方を考えさせ、社会的・職業的自立に向けて必要な基本的な能力や態度を育て、安易な進路選択をなくす。
- 5 開かれた学校づくりを推進する
 - ・ 家庭・地域と連携した信頼される学校づくりの推進
近隣の小中学校や地域等との交流・連携、施設開放や開放講座等をとおして、信頼される学校づくりを推進する。
また、HPの随時更新等をとおして、本校の教育活動に係る広報を積極的に行い、開かれた学校づくりを推進するとともに、魅力ある高等学校づくりをアピールする。
- 6 その他
 - ・ 福祉や福祉関連教科の学習をとおして、福祉マインドの涵養に努め、社会福祉の理解者を増やし、社会福祉の発展に貢献できる人材の育成に努める。
 - ・ 福祉教育の拠点校としての役割を自覚し、県内外の福祉関連高校との連携を深め、福祉教育のレベルアップを図る。